

- INTERVIEW

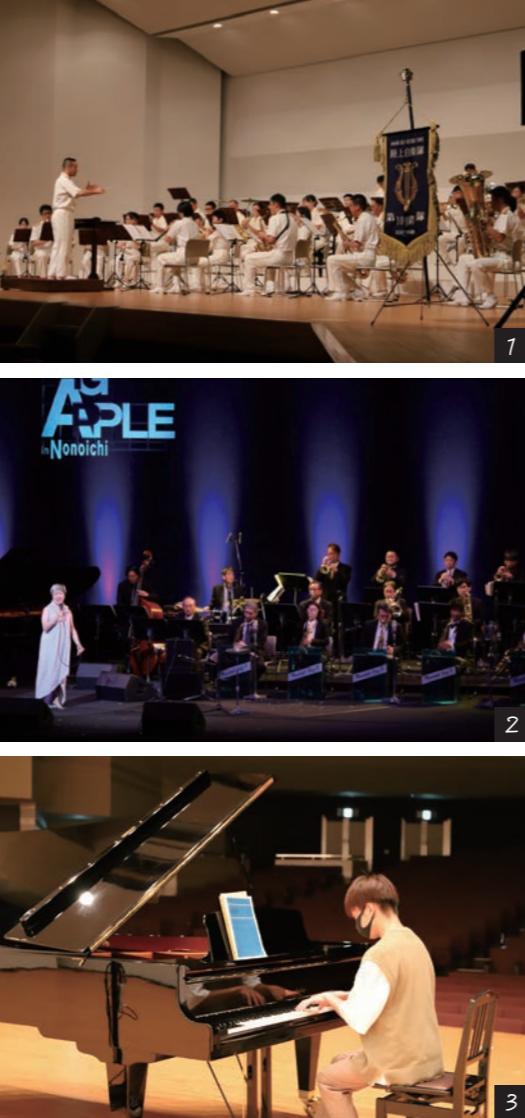


文化会館フォルテ

日裏 由佳さん

フォルテには、お客さんとしてだけでなく出演者としてステージに立ったことがある人も多いのではないでしょうか。この春から情報交流事業もフォルテで行うようになり、より幅広いジャンルのイベントへ参加できるようになりました。「コンサートでワクワクした!」「ステージ上でドキドキした!」「こんな発見があった!」という心が動く瞬間を、フォルテでたくさん味わって欲しいです。

①陸上自衛隊第10音楽隊の吹奏楽演奏による「避難訓練コンサート」②野々市的一大ジャズイベント「BIG APPLE in Nonoichi」③ベーゼンドルファーインペリアルを弾いてみよう



特集

文化会館フォルテの魅力

昭和63年5月に文化会館フォルテが開館して以来、コンサートや演劇、講演会、式典の場など、幅広く利用されてきました。そんな市民に親しまれているフォルテですが、まだまだ知らない魅力がたくさん! 皆さんが知っているフォルテの、知られざる魅力を紹介します。

・魅力①県内に2台だけ
ベーゼンドルファーインペリアル

文化会館フォルテは、「インペリアル（皇帝）」の称号を持つピアノ「ベーゼンドルファー model 290」を所蔵しています。このピアノは、県内のホールに2台しかない希少なもの。普通のフルコンサートピアノの鍵盤数は88鍵ですが、低音部に9鍵多い97鍵を備えています。そのため、長さが290cmと大きく、見た目はまさに皇帝の風格。大きな響板と豊富な低音弦による、落ち着いた深みのある音色が特長です。



1



2



3

①大ホールに響く「皇帝」の音色②レナード・バーン斯坦のサイン③黒く塗られた鍵盤④鍵盤数97鍵・長さ290cm



黒い鍵盤は、普通のピアノよりも
低い音が出る鍵盤

ベーゼンドルファー model 290 は、鍵盤数が一般的なピアノよりも低音部に9鍵多い97鍵! そのため、ピアニストが間違えて弾いてしまわないように、拡張した9鍵分は黒く塗ってあるそうです。

ベーゼンドルファー好きであるバーン斯坦は、ウイーンのピアノ工場を見学した際、展示ピアノで良い音のもの数台にサインを書いたそうです。その内の1台がフォルテにやってきました。バーン斯坦の折り紙付きピアノの音色、注目して聞いてみてはいかがでしょうか。

・魅力②誰でも弾ける!
エントランスのフリーピアノ

エントランスにフリーピアノを設置し、会館の予約がない時間帯に自由に演奏できる企画を実施しています。実施日は、フォルテの公式ツイッター・フェイスブックでお知らせします。事前申し込みは不要です。演奏可能当日に窓口へ来てください。



←フリーピアノ実施日は文化会館フォルテ公式SNSをチェック!



・魅力④情報交流事業

令和4年3月末に閉館した情報交流館カメリアの役割を引き継ぎ、令和4年4月から情報交流事業を行っています。パソコン・プリンター・Wi-Fiが利用できる「情報交流コーナー」を開設したほか、「パソコン・ITなんでも相談窓口（要予約）」を設けて市民の皆さんとのIT支援を行っています。また一般向けの「フォルテdeパソコン教室（ワード・エクセルなど）」や小中学生向け「ネット教室」なども実施し、広い世代にとってのITを生かした交流の場となっています。



野々市市文化会館フォルテ

イベントだけでなく貸館も行っています! ぜひ問い合わせください。

所在地 本町五丁目4-1

施設概要 大ホール、小ホール、楽屋、ミーティングルーム、情報交流コーナー、茶室・和室、喫茶など

休館日 每月第1・3水曜日、年末年始

問い合わせ

(公財)市情報文化振興財団(文化会館フォルテ内)

☎ 248-8000

市の芸術文化振興のため、年間を行っています。今年は、5月に「NHKのど自慢 野々市大会」や9月に「避難訓練コンサート」を実施してきました。今後も、10月8日㈯の「みんなの音楽会」や11月19日㈯・20日㈰の「BIG APPLE in Nonoichi 2022」など楽しい予定が盛りだくさん! ゼひ、文化会館フォルテでいろんな表現に触れま